



巣づくりをしている雄イトヨ

ているのを観察している。ミズカマキリは、前足で産卵後の弱ったイトヨをつかまえて針のようになった口で、えものの体液を吸っている。イトヨは、一〜二年の寿命である。植物が自然に枯れていくように、



巣に誘い入れた雌（左）に産卵を促す雄イトヨ（右）

形あるものは必ずこわれる。生命は必ずいつか土にかえる。この自然の大きな流れの中に、イトヨの死もあるが、次の世代が生まれ永遠をめざす生命の鎖が、また一つつながっていく。